

北朝鮮の核実験に対する緊急アピール

昨日、北朝鮮は「水爆」と称する6回目の核実験を強行した。

弾道ミサイルに続き、核実験を強行する北朝鮮は常軌を逸しており、被爆地・広島を抱え平和を希求する中国・四国地方の知事と経済界にとって、到底容認できるものではなく、強い憤りを覚える。

今回の北朝鮮の行為は、我が国の安全保障に対する重大かつ深刻な脅威であるとともに、核兵器廃絶に向けた国際的な機運に大きく水を差すものであり、他の核兵器保有国や核兵器保有を願望する国の核開発を加速させ、世界の平和と安定の構築を損ねることを強く危惧する。

今回の暴挙に対して、中四国サミットとして最も強い表現により厳しく抗議する。

また、国においては、住民の生命・財産を守り、安全安心を確保するため、国際社会と連携して、北朝鮮がこれ以上、核実験の実施といった暴挙に出ることのないよう、拉致問題解決やミサイル問題も含め断固とした対応をとるとともに、万が一、核実験に起因する放射性物質の拡散による被害が発生した場合には国において万全の措置を講じられるよう強く要請する。

平成29年9月4日

中四国サミット

鳥取県知事	平井伸治
島根県知事	溝口善兵衛
岡山県知事	伊原木隆太
広島県知事	湯崎英彦
山口県知事	村岡嗣政
徳島県知事	飯泉嘉門
香川県知事	浜田恵造
愛媛県知事	中村時広
高知県知事	尾崎正直
中国経済連合会会長	荻田知英
四国経済連合会会長	千葉昭